

十月二十三日（木）第五十九回連絡會議

國策遂行要領再檢討ニ關スル件

午後二時新内閣ト統帥部ト初會議ヲ行フ

午後五時半終了

一、情報交換ヲシテ岡本前田兩部長ヨリ「歐洲戰爭ノ見通シ」ニ就
テ説明アリ

前田少將、獨「ソ」戰ニ於ケル獨ノ勝利ト英國ノ國力培養ニヨ
リ歐洲戰ハ逐次長期化スル公算大ナリ

英ハ「スエズ」及新嘉坡ノ確保ニ力ヲ入レテ居ル。獨ノ近東進



出ト共ニ何レ速カラス近東ニテ作戦起ルヘシ

米ハ十七年末南洋作戦ヲ許ス戦備ノ整フ迄ハ日本ヲ戦争ニ参加

セシメサル如ク努ムルナラム

ニ右終リ午後四時連絡會議ニ入ル

水野

海軍ノ現況ヲ説明シ「十月ノカ今トナツタノテ研究會議

モ簡明ニヤラレ度一時間ニ四百瓦屯ノ油ヲ消耗シツツア

リ事ハ愈ナリ。愈速ニドテラカニ定メラレ度」ト強ク述

ブ

杉山

佛印通牒ヨリノ陸軍ノ状況ヲ述ヘ「既ニ一ヶ月延引セラ

ル研究ニ四日モ五日モカケルノハ不可早クヤレ」ト強固

ス

東條

統帥部ノ愈クヘキコトニ就テノ力説ハヨク承知シアリ

政府トシテハ海軍、大蔵、外務等新大臣モアリ十分ニ檢

討シテ責任ヲトレル様ニシ度イ

九月六日決定ヲ其儘ニテ政府カ責任トレルカ又ハ新シキ

立場ニテ考ヘネハナラヌカヲ檢討致シ度イ、統帥部異論

ナキヤ

統 異存ナシ

東條條 然ラハ方法如何幹事カ一案ツクツテハ如何

武蔵 幹事ノ一案ハナカナカ纏マラス大休今迄研究シタ問題ハ

カリタ

岡

然ラハ此席上擔當ノ各省ニテ見解ヲ述ヘソレニ對シ夫々
責任ヲ述ヘテアトテ主務ノ幹事カ之ヲマトメテ纏ル機ニ

セハ如何

全員 右ニ同意ス

賀屋 自分ノ納得ユク機ニ致ヘテ實ヒ度イ戰爭進行シテ物資如

何ニナルカ、戰爭セスニ現在ノマヽナレハ如何ニナルカ、米

トノ交渉不成立ノ場合ハ如何ニナルカ等ヲ研究スレバ子

算ハ物資ノ需給關係サヘ定マレハ之ニテ決セラルヘク子

算其モノハ大シタ問題テナイト思フ

○、此十三ノ研究問題ヲ逐次研究スレハ其邊ハ判然トスル

東條 本日ハ之ニテ終了金午後、土午兼、^{午後}月午後ト研究シ度

右ニテ終了ス御國策再檢討ハ本日ハ本論ニ入ルコトナシ